

いしがき



令和2年度 宇城市立小野部田小学校
学校便り 第2号
文責：校長 川端 保成
ホームページ <http://es.higo.ed.jp/onoheta/>

新型コロナ感染防止のため、県下全域で休校措置！

～感染予防対策を万全に!!～

本来であれば、4月に新たな出会いがあり、新しいクラス担任の下、家庭訪問等が行われ、令和2年度がスタートするところでした。

しかし、残念ながら予想を大きく上回る新型コロナウイルスの世界的な蔓延という、「パンデミック」の状態となりました。「子どもの命を守る」ために学校における教育活動が、宇城市の全小・中学校でも一斉に休校することとなり、前代未聞の状況に戸惑いは隠せません。

学校では、「密集・密閉・密接」の三密を避けるとともに、マスク着用と手洗いというがいの励行に努めていますが、各ご家庭でも感染予防をよろしくお願いします。

先日、文部科学省から、子どもたちへ布マスクが2枚ずつ届きました。休校期間中ですので、後日みんなに届けたいと思います。おうちの方が納めた税金で購入されたものです。大切に 부탁드립니다。



～人の心に潜む差別とは～

全国的な罹患者数や死亡数が一向に減る傾向は見られず、いつ終息するのか全く見当が付きません。そんな中、とても気になるニュースがあります。それはウィルスに感染した人が犯罪者のように扱われ、最前線で命をかけて接している医療従事者の家族に対して、差別が行われている事です。

人は得体の知れないものに恐怖を感じ、それを避けることは往々にしてあると思います。しかし、今は、誰がいつ感染してもおかしくない状況だと分かっているはず。その苦痛や痛み、不安感などは計り知れないということも…。

いま、現実的に「タクシー乗車拒否」や「子どもの受け入れ拒否」等、さまざまな事例が報道されています。これは、子どもたちが学習している「ハンセン病」や「水俣病」に対する差別と全く変わりません。私たちが住む熊本で実際にあった差別事象から、本当に大切なものは何かを、子どもたちは学んでいます。

過去の過ちと真摯に向き合い、そこから見えてくる「あたたかいもの」とは何なのか、私たち大人が語っていかなければならないと思います。

新PTA役員のみなさま、お世話になります

感染拡大防止のため、紙面における承認事項としてお計りしていた今年度のPTA新役員ですが、委任状による承認が全戸数の三分の二以上を越えたため、以下のように決定させていただきます。今後活動がいつ再開となるか、現時点ではまだ見えませんが、本校の教育活動を全面的にバックアップして頂けるよう、どうぞよろしく願いいたします。

会長	内田 一郎 様	書記	吉村 敬史 様
副会長	岩村 興一郎 様	会計	松田 里佐 様
副会長	水野 恵理子 様	監査	栗崎 久美子 様
副会長	坂本 善隆 様	監査	奥蘭 恵美 様

(兼 宇城市理事)

今年一年、お世話になります。



休校期間中のお子さんは、どんな過ごし方をされていますか？ 毎日、自分なりに目標を決めて取り組んでいるご家庭は、どれくらいでしょうか？

私は勤務がほとんど中学校なので、小学生の実状については、正直まだ把握していませんが、最近思う事は、この子達はいつになったら「本気」を出すのかと、見えない事が多かったように思います。部活動に関しても、大会が近づいてから、教師側が意図的に仕組んでいかないと「その気」になってくれませんが、この感覚はいつ頃からかは定かではありませんが、もしかしたら、私たち大人がレールを敷きすぎているのでは？、と考えています。

子どもが「本気」を出す時は、本当に好きなもの、興味があるものを見つけた時だと思います。ご家庭でもちょっと話題にして頂けたら幸いです。

5月の行事予定

1日	歯科検診	(延期)
7日	宇城教科等研究会	(中止)
8日	心臓検診	(延期)
15日	宇城学人研総会	(中止)
24日	運動会	(延期)
29日	水俣に学ぶ肥後っ子教室	(延期)
	対象学年 5年	(延期)

コロナ感染防止のため、ほとんどの行事が中止や延期となっています。非常に残念ですが、ご了承願います。

※ 小野部田小学校のホームページに、「日々のつぶやき」として、学校生活のとある場面や、ちょっとしたエピソードなど、随時アップさせて頂いていますので、ぜひご覧ください。